

「食べもの」

活動スケジュール

- 【5・6月】すくわくテーマ決め、果物と野菜の分類、育つ場所について考える
 - 【7・8月】果物、野菜の断面、種調べ
 - 【9・10月】果物の糖度調べ
 - 【11・12月】調味料「さしすせそ」について
 - 【1月】味噌汁作り
 - 【2月】生活発表会にて、すくわく研究発表を行う
- ★4～7月にジャガイモ栽培を行い、12～3月には食品三色群についても学ぶ

活動のために準備したものや環境の設定

- ・図鑑、タブレット端末
- ・野菜、果物（桃、巨峰、シャインマスカット、ドラゴンフルーツ、ゴールデンキウイ、グリーンキウイ、リンゴ、梨など）
- ・包丁(保育者使用)、まな板、糖度計、記録用紙
- ・調味料（砂糖、塩、酢、醤油、味噌）
- ・味噌汁素材（赤味噌、白味噌、昆布、煮干し、鰹節、大根、小松菜、豆腐、わかめ、しめじ）
- ・調理器具、栽培用土、プランター、種イモなど

活動の内容

- ・野菜と果物の分類や育つ場所について考える
- ・種の位置や断面の違いに興味を持ち、観察することで理解を深める
- ・果物の糖度を測定して予想と結果を比べたり、温度による甘さの違いを比べる活動を通して、体感と数値を結び付けて考える
- ・味噌汁づくりを通じて食材や調味料が料理になる過程を知る
- ・じゃがいも栽培を通して、育てる、収穫する、食べるまでを体験する
- ・三食食品群を通して食べものの働きを知り、生活を結び付けて考える
- ・生活発表会にて、すくわく研究発表を行う

テーマの設定理由

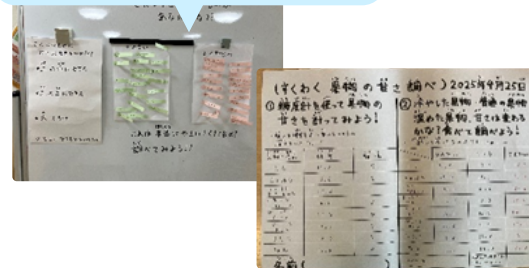
子ども同士ですくわくプログラムについて話しあった結果、「食べ物」に関する意見が多く挙がり、共通の関心として見えてきた。子どもたちの興味関心をもとに主体的に探求できるよう、食べ物をテーマに設定した。さらに日常生活とも結びつきやすい題材であることから、継続的に関心を持って取り組めると考えた。



活動中の様子

- ・「これは土の中にあるんじゃない?」「思っていたより甘くないね」「温かい方が甘い気がするよ」「自分たちで作ったから美味しいね」など、発見や気づきを言葉で表現する姿が見られた
- ・友だちと意見を伝え合いながら、「同じだね」「違うね」と考えを共有する姿や、保育者の問いかけに応じて考えを深める姿が見られた

野菜と果物の違いや、甘さ比べをして発見いっぱい!



じっくりじっくり観察して、考えて…



実物を見るともっと興味がわいてくるね!



生活発表会では研究発表をしたよ!

